

三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 25 年 11 月 19 日

上海デスク 鈴木 正治

(上海納克名南企業管理諮詢有限公司
董事・総経理)

大気汚染が深刻化する季節の到来

PM2.5 による大気汚染が深刻化している中国であるが、冬を向かえると特に PM2.5 の濃度は高くなる。

ハルビンでは、PM2.5 の数値が 1 立方メートル当たり 500 マイクログラムという人体に影響を与えたとんでもない数値を計測しており、5 メートル先が見えないほど深刻な大気汚染が発生し、交通機関は麻痺し、学校が休校となるといった大きな影響がでたことが報道されている。



10 月 21 日のハルビン市

PM2.5 とはそもそも何か

大気中に漂う微粒子のうち、直径 2.5 マイクロメートル (2.5 ミリメートルの 1000 分の 1) 以下の粒子のことをいう。その大きさは髪の毛の太さの約 30 分の 1 で通常のマスクを通すほどであるため、人間の肺の奥にまで到達しやすく、大量に吸い込むと喘息や肺癌等の健康被害が懸念されている。主な発生源は工場の煤煙や自動車の排気ガスである。

日本の環境基準は大気中の濃度を 1 年平均で 1 立方メートル当たり 15 マイクログラム以下、かつ 1 日平均で同 35 マイクログラム以下が望ましいとしている。

PM2.5 濃度 (1 立方メートル当たりのマイクログラム数値)

中国では PM2.5 による大気汚染が深刻であるため、日系の幼稚園、学校などでは毎日 PM2.5 計測数値をホームページなどで公表し、その日の課外活動をする

目安としている。下記は一般的に使用されている指標である。（ハルピンでの500マイクログラムという数値は既に尋常ではない）

0-50 ⇒ 状態良好

51-100 ⇒ 軽微の汚染 屋外活動はできるだけ控えましょう。

101-150 ⇒ 心臓や肺疾患、高齢者、子どもは長時間の屋外活動は控えましょう。

151-200 ⇒ 長時間の屋外活動を控えましょう。

201-300 ⇒ 中度の汚染 屋外活動は中止しましょう。

300以上 ⇒ 重度の汚染 人体に影響が出るレベルの汚染状況なので屋外活動はNG

冬になるとなぜ大気汚染が深刻化するのか

特に中国東北地域では、冬を向かえると大気汚染が深刻化する。

その原因は、通常の工場の煤煙や自動車の排気ガスに加えて、中国東北地方では、石炭を使った暖房が冬の一定期間、強制的に開始されることが大きな原因となっている。また厳しい寒さが続き、地面が低温になったことで、空気が上下方向に混合しにくくなる状態が長い期間にわたって維持されたことも大きな要因となっている。さらに風の弱い状態が長く続くと、地表近くで発生した汚染物質が比較的低い高度内に閉じこめられ、蓄積が続き、大気汚染をさらに深刻にしていくと考えられている。

そのため、大気汚染物質の発生量が今年になって急激に増加しているわけではなく、天気等にも大きく左右されているのである。

中国の環境対策

個々としては抜本的な対策は取れず、できることは限られているが、進出日系企業の間ではマスクの配布、空気清浄機の設置、駐在員の家族を帰国させる等、一時的な対策を講じている。北京の日系不動産仲介業者の話では、駐在員家族向けの物件は、大気汚染を理由として空きが出ているとのことである。

一方で、HSBCが世界100カ国近くの約7,000人の駐在員を対象に実施した最新の駐在員快適度調査（2013年10月発表）によると、大気汚染が深刻化しているとはいえ、中国がトップ10入りしている（首位はタイ、日本は24位）という結果から、駐在員は生活しやすい国としているのは興味深い結果である。

中国行政の対応としては、中国財政省が北京市、天津市、河北省、山西省、山東省、内モンゴル自治区に50億元（約800億円）の対策費を拠出することを決定し、上海市は石炭ボイラー禁止や車両走行規制など187項目の対策で、PM2.5の平均濃度を2017年までに、2012年比で20%削減する数値目標を定めた。

中国政府として環境対策を講じることは多額のコストを要するだけでなく、経済活動にブレーキがかかる事態を懸念する声も出ている。石油大手など大量の汚染物質を施設から排出してきた国有企業などから排気対策に反発する動きも出ており、規制の実効性を疑問

視する声もある。逆に環境対策を講じないことは国民からの健康被害に対する大きな非難を浴びることを懸念している。

こうしたジレンマの中、中国政府が重い腰を上げて対策を講じることを決定したことは評価に値するものと考ええる。

汚染対策の切り札として期待される天然ガスは慢性的に不足しており、今年の冬も汚染の元凶である石炭に依存せざるをえない状況は続くものの、数年後には、季節問わず青い空が見られることを期待したい。